

同 志 社 大 学

2009 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 20日提出

所 属	職 名	氏 名
総合政策科学研究科	教授	三好 博昭
研 究 題 目	安全 ITS 普及のための政策研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>安全 ITS (Intelligent Transport System) とは、車両周辺の交通や路面の情報を各種センサーや情報通信装置を用いて収集し、収集した情報を基にドライバーの安全運転を支援するシステムの総称である。この研究では、安全 ITS のうち、車両相互事故を回避することを目的に実用化が考案されている「路側情報利用型運転支援システム」(路車間通信)と「情報交換型運転支援システム」(車々間通信)という2つのシステムを取り上げ、それぞれのシステムの性質を考慮しながら、双方の費用対効果上の優位性を、都市交通属性との関連性で分析し、今後の ITS 施策推進に資することを目的とする。</p> <p>本研究は 2008-2010 年度までの 3 カ年で実施することを予定しているが、2009 年度は、2008 年度の成果を利用し、分析用のコンピューター・シミュレーション・モデルを構築した。このモデルを活用した分析も進めており、2010 年 10 月に釜山で開催される ITS 世界大会に論文“<i>Economic Features of Safety-related Intelligent Transport Systems and Their Diffusion Dynamics in Urban Spaces</i>”を投稿した。この投稿論文は、ITEC Working Paper3 月号にも掲載される予定である。</p>	